

## 佐賀大学サマープログラム(SUSP) の実施について

平成27年6月30日から7月14日にかけて、佐賀大学サマープログラム（Saga University Summer Program 2015 -Innovation for Sustainability in Young Leaders-）を実施しました。今年で3回目の実施となった本プログラムには、タイ、カンボジア、インドネシア、中国、アメリカ、リトアニアの9つの協定校より21名の留学生が参加しました。また21名の佐賀大学生が留学生の言語・生活サポート等のお世話を行うバディとしてプログラムに参加し、留学生との親睦を深め、地球規模での連帯と協力が不可欠な持続可能な社会の構築をテーマに、下記の講義や活動に取り組みました。

### 【1週目】

講義「アジアの経済開発」

講義「日本のエネルギー問題・資源のリサイクルに取り組む自治体・伝統食品と麴」

講義「海洋エネルギー・OTEC」

### 【2週目】

理工学部研究室紹介

シンクロトロン光応用研究センター訪問

講義「アグリ創生教育センターの研究教育活動と農業体験学習」

講義「水資源と浄化システム」

鹿島の自然とガタリンピック体験

有田焼の歴史と焼きものの機能

### 【3週目】

振り返り・グループワーク・グループプレゼンテーション

またプログラム期間中は、佐賀大学のバディ学生やホームステイの家族との交流を通して、日本社会や文化に対する理解を深めました。

最終日のプレゼンテーションでは、プログラムを通して得た知識や経験をふまえ、出身国・地域の現状との比較をしながら、持続可能な社会を実現するための提言をグループで発表しました。15日間の短期プログラムではありますが、参加学生は佐賀大学の特色ある研究や教育に触れ、地域の企業や自治体の先進的な取組みを学び、関連する知識を獲得しただけではなく、持続可能な社会の構築に対する意識を高めることができました。サマー

プログラムを通して、海外協定校とのさらなる交流の促進と本学学生の国際性の醸成につながることを期待されます。

ご協力いただきました自治体、企業、ホームステイをお引き受けいただいたご家族、本学教職員みなさまに心より感謝申し上げます。



開講式



海洋エネルギー研究センター



シンクロトン光応用研究センター



アグリ創生教育研究センター



佐賀市下水浄化センター



鹿島干潟 ミニガタリンピック



祐徳稲荷神社



有田ポーセリンパークにて絵付け体験



九州陶磁文化館



グループワーク



プレゼンテーション